

大阪市 水害ハザードマップ

このハザードマップの使い方

使いかた 1

お住まいの地域は、どのような災害の危険性があるか確認しましょう



大雨・台風時にはどの河川の氾濫により浸水するか、高潮の影響を受けやすいか、地震時には津波の影響を受けるおそれがあるかなど、ハザードマップで確認しましょう。

使いかた 2

災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう

災害の状況やあなたの置かれた状況によって、命を守るための避難行動は異なります。大雨・台風、津波の災害ごとに命を守るための避難行動（避難タイミングと避難先）を確認しましょう。

使いかた 3

命を守るために、掲載している情報やマイタイムラインを活用し、日頃からの備えを確認しましょう



災害時には様々な情報が発信されます。いざというときにすぐ行動できるよう、掲載している情報や、書き込み式のマイタイムラインを活用し、日頃から備えておきましょう。

避難先・集合場所

災害の種類ごとに避難先・集合場所を確認し、記入しておきましょう。

大雨のとき 洪水	避難先・集合場所	_____
	連絡先	_____
台風の時 洪水・高潮	避難先・集合場所	_____
	連絡先	_____
津波	避難先・集合場所	_____
	連絡先	_____

大阪市ではどんな水害が起きるの？

大阪市では、河川管理者等（近畿地方整備局、大阪府、大阪市）によって大雨が降った場合や地震による津波が発生した場合の浸水が想定されています。想定されている水害は、河川氾濫、内水氾濫、津波浸水、高潮の4種類です。

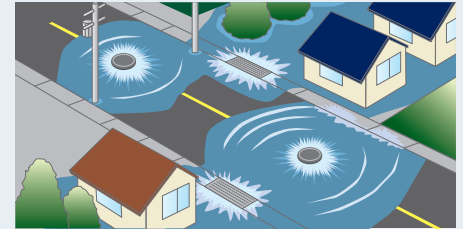
河川氾濫

長時間雨が激しく降ると、河川の増水により堤防が壊れたり、堤防から水が溢れ出して浸水します。



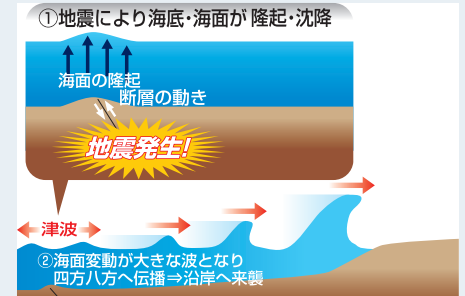
内水氾濫

水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、雨水が溢れ、住宅地や道路などが冠水します。



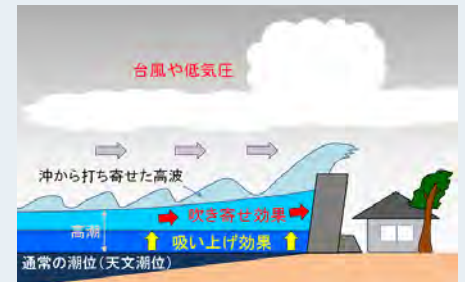
津波浸水

海底下で発生した地震の断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し四方八方に伝達するものが津波です。



高潮

台風や低気圧の接近により海水面（潮位）が平常時よりも高くなる現象を高潮といいます。潮位が上昇する主な原因は、低気圧による吸い上げ効果と風による吹き寄せ効果です。



出典：気象庁ホームページ

災害時の連絡先

福島区役所	06-6464-9734	道路（野田工官所）	06-6466-2157
福島区保健福祉センター	06-6464-9882	電気（関西電力（停電））	0800-777-3081
警察署	110	ガスもれ（大阪ガス）	0120-0-19424
消防署	119	電話の故障（NTT）	113
下水道（海老江管路管理センター）	06-6462-3919	ひかり電話・携帯電話からは	0120-444113
水道（北部水道センター）	06-6391-6301		